

大島 美佳さん（広島県廿日市市出身）  
2017年度3次隊 青年海外協力隊  
派遣国：ザンビア 職種：コミュニティ開発  
2019年6月30日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

## 職場環境改善へ「5S」

私は今、ザンビア共和国に住んでいる。アフリカ大陸の南部に位置し、日本のほぼ2倍の国土に約1700万人の人々が暮らしている。73もの民族が共存するにもかかわらず、独立以降一度も内戦をしていない平和な国。そんな穏やかな国に暮らす人々は陽気で社交的だ。

道を歩けば「調子はどう？」と声を掛けられる。出勤時には、すれ違う人ほぼ全員とあいさつを交わすほど。毎日彼らから元気をもらっている。

私は首都ルサカから南西に約300キロ、チョマという町にあるヘルスセンターで5S活動を行っている。5Sとは「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「しつけ」の頭文字を取ったもので、職場環境の改善活動のことである。多くの途上国には5Sの概念がないため物が雑然と置かれており、目的の物を探すのに時間がかかる。

また、患者数に対するスタッフ数の不足もあり、毎日多くの患者を長時間待たせているのが現状だ。そこで仕事の効率化を目的に5S活動を始めたわけだが、いくら改善しても次の日には元通り。5Sの習慣がないところで人々の意識を変えることは容易ではない。

しかし、徐々に5S活動に興味を持つスタッフが増えてきており、最近では空き箱を使って棚の中を整理する姿も見られる。少しずつではあるが、5S活動の大切さを理解してくれているようだ。業務の無駄を省き質の高い医療を提供できるよう、引き続き改善に取り組む予定だ。



キャプション：

妊婦健診を受けに来た女性。手続きが終わるまで外で長時間待たないといけない